

■源頼家 鎌倉幕府2代将軍。御家人合議制で実権を剥奪されて乱行、幽閉され殺害された。

みなもとのよりいへ
・ ・ ・ ・ ・ 1182＝ 鎌倉の比企能員邸で、_源頼朝・北条政子の長男に生まれる。
乳母は能員妻，河越重頼妻(能員妹)，梶原景時妻など。なお若宮大路の段葛は，その安産を祈って頼朝が北条時政ら諸将につくらせたものである。

平氏滅亡・ ・ 1185＝ 3歳：

奥州藤原滅亡1189＝ 7歳：

栄西臨濟宗始1191＝ 9歳：

鎌倉幕府始・ 1192＝10歳：

・ ・ ・ ・ ・ 1197＝15歳： 従五位上右近衛少将，
・ ・ ・ ・ ・ 1198＝16歳： 正五位下。

源頼朝没・ ・ 1199＝17歳： *父頼朝の死後家督を継いで鎌倉殿になり左中將に転ず。嗣立直後に讃岐守護を改補して，頼朝政治の改変と非難され，母政子によって政務の直断を禁じられ，幕政の実権を時政ら13人の宿老会議に奪われた。以後，乱行が始まる。その後，小笠原長経・比企時員・中野能成ら近侍5人の鎌倉中での特別待遇を下知し，家臣安達景盛の愛妾を奪い，景盛追討をはかって政子に諫められるなどの乱行があった。

梶原景時征討1200＝18歳： 従四位上を経て，従三位左衛門督。_股肱の重臣梶原景時が御家人66人に弾劾されたとき，彼はこれを見捨てて族滅に追いやった。結局は実行できなかったが，御家人所領のうち5百町を超える分を収公しようとしたことと考えあわせると，彼も頼朝以来の大豪族弾圧策を堅持しようとしたものと思われる。

・ ・ ・ ・ ・ 1201＝19歳： _蹴鞠に熱中して御家人を遠ざけたり，境相論に際して絵図に線を引いて広狭は運によるとうそぶいたりして，御家人の信望を喪失させ，乱行愚政と目せしめたが，実権を失った彼の心中にも同情の余地はある。能員の娘若狭局との間に一幡が生れていたので，將軍外戚は北条氏から比企氏に移りつつあった。

・ ・ ・ ・ ・ 1202＝20歳： 形式的に，正三位，続いて，従二位*征夷大將軍。

執権政治始・ 1203＝21歳： *これを恐れた時政は，頼家の急病に際して，その死後に，一幡と弟千幡(実朝)とに権力を分譲する案を出し，北条・比企の対立が激化した。時政・義時に攻められた比企一族は，幼君一幡とともに族滅し去った。このときすでに朝廷に対して，頼家死去の報告と実朝擁立の申請が行われていたらしい。その直後に病気が治りかかった頼家は，事のよしを知って和田義盛・仁田忠常に時政追討を命じたが，義盛の告げを受けた時政によって忠常は殺された。孤立無援となった頼家は，出家落飾を強いられた。このとき抵抗する頼家を政子がおさえたと「愚管抄」に書かれている。伊豆修善寺に送られて幽閉され，

源頼家暗殺・ 1204＝22歳： _北条氏の討手に殺された。殺害の場所や方法には数説あって判然としない。